

令和元年6月17日

東北電力株式会社 東通原子力発電所
所長 嶋田 真孝殿

東通原子力規制事務所
統括原子力運転検査官 山本 晋児

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について

平成30年4月1日から平成31年3月31日に行われた、東通原子力発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。

記

(総合所見)

平成30年度の安全文化・組織風土の劣化防止に係る取組状況については、活動計画どおりに発電所全体として実施され、おおむね前年度の水準を維持しており、次年度も活動内容を改善して実施するとしていることから、おおむね「計画に基づいた取組が行われ、改善傾向が見られる。」と評価する。

安全文化・組織風土の劣化兆候については、重大な劣化兆候は見られないものの、安全に関わる行動や原子炉施設における機器の状況などの確認が十分でなかったことが原因で発生した不適合、QMS文書等の不備及びルールを適切に運用するための基本動作が十分でないことによる不適合の発生が見られることから、「さらに傾向を見るため継続した監視を必要とする。」と評価する。

以上